

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成 27 年 6 月 25 日 (2015.6.25)

【公表番号】特表 2014-523996 (P2014-523996A)

【公表日】平成 26 年 9 月 18 日 (2014.9.18)

【年通号数】公開・登録公報 2014-050

【出願番号】特願 2014-509268 (P2014-509268)

【国際特許分類】

F 1 6 B 12/12 (2006.01)

F 1 6 B 5/00 (2006.01)

F 1 6 B 5/06 (2006.01)

【F I】

F 1 6 B 12/12 B

F 1 6 B 5/00 E

F 1 6 B 5/06 J

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 4 月 30 日 (2015.4.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 パネル (1) 及び第 2 パネル (2) を備え、前記第 2 パネル (2) が前記第 1 パネル (1) に対して本質的に垂直に変位される時に、前記第 1 パネルと前記第 2 パネルとの間の機械的なロックを達成するために、前記パネルが互いに対して本質的に垂直に配置される時に、前記第 2 パネルのエッジ (16) が、前記第 1 パネル (1) の溝 (6) 内に挿入可能である、という長方形状のパネル (1、2) として形成された 1 組の家具の構成要素であって、

前記エッジ (16) は、舌部溝 (5) を有すると共に、前記溝 (6) は、別個かつ柔軟な舌部 (3) を有し、

前記第 1 パネル (1) の主平面 (MP) に対して垂直な第 1 方向において前記パネルを互いにロックするために、前記別個かつ柔軟な舌部 (3) は、前記舌部溝 (5) 内に挿入可能であり、

前記第 1 パネル (1) の前記主平面 (MP) と平行な第 2 方向において前記パネルを互いにロックするために、前記第 2 パネルの前記エッジ (16) は、前記第 1 パネル (1) の溝 (6) と協力して動作するように構成されており、

前記別個かつ柔軟な舌部 (3) の長さ方向は、前記エッジ及び / または溝 (6) と平行に延びており、

前記溝 (6) は、開口と、2 つの側壁 (6b、6c) と、底部 (6a) と、を有しており、

前記別個かつ柔軟な舌部 (3) は、挿入溝 (4) 内に配置されており、

前記別個かつ柔軟な舌部は、前記挿入溝 (4) 内に取り付けられる内側部分 (9) と、前記挿入溝の開口の外側に延伸する外側部分 (10) と、を有しており、

前記別個かつ柔軟な舌部 (3) は、ロック中に、前記挿入溝 (4) の底部に向かって内向きに、及び、前記舌部溝 (5) 内へ外向きに、変位可能であり、

前記挿入溝 (4) は、前記開口が前記挿入溝 (4) の内側部分よりも前記第 1 パネル (

1) の前記主平面 (MP) に近い状態で、上向きに傾けられていることを特徴とする 1 組の家具の構成要素。

【請求項 2】

前記柔軟な舌部は、前記内側部分と前記外側部分との間に位置された 2 つの対向する変位面 (3a、3b) を有し、

前記柔軟な舌部 (3) の前記 2 つの対向する変位面の各々は、ロック中に、前記挿入溝 (4) の前記底部に向かって内向きに、及び、前記舌部溝 (5) に向かって外向きに、それぞれ、前記挿入溝の上方壁及び下方壁に対して変位可能であることを特徴とする請求項 1 に記載の 1 組の家具の構成要素。

【請求項 3】

前記挿入溝 (4) は、その下方部分の延長線 E が前記溝 (6) の開口の前記外側部分に、または、それより外側に位置するように傾けられていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の 1 組の家具の構成要素。

【請求項 4】

前記第 2 パネル (2) が前記第 1 パネル (1) の溝 (6) 内に挿入される時にパネル本体が前記溝 (6) の開口 (27、28) の一方部分または両方部分と重なるように、前記第 2 パネルは、前記パネル本体 (2) よりも小さな厚みを有する外側エッジを有することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の 1 組の家具の構成要素。

【請求項 5】

前記別個かつ柔軟な舌部 (3) の内側部分 (9) は、前記別個かつ柔軟な舌部 (3) の前記長さ方向に延伸する 1 つまたは 2 つ以上の柔軟な突出部 (8) を有することを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の 1 組の家具の構成要素。

【請求項 6】

前記挿入溝 (4) は、前記第 1 パネル (1) の前記溝 (6) 内に形成されていることを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載の 1 組の家具の構成要素。

【請求項 7】

前記挿入溝 (4) は、前記第 2 パネルの前記主平面に対して、約 10° ~ 45° の角度で傾けられていることを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれかに記載の 1 組の家具の構成要素。

【請求項 8】

前記パネルは、互いに離された少なくとも 2 つの別個かつ柔軟な舌部 (3) を有することを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれかに記載の 1 組の家具の構成要素。

【請求項 9】

前記溝 (6) は、パネルの一部に沿って延びる部分的な溝として形成されていることを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれかに記載の 1 組の家具の構成要素。

【請求項 10】

前記パネルには、前記第 1 パネル (1) の前記主平面 (MP) と平行にパネルをロックするためのロック要素 (12) 及びロック溝 (14) が設けられていることを特徴とする請求項 1 乃至 9 のいずれかに記載の 1 組の家具の構成要素。

【請求項 11】

角部分において前記隣接する外側パネルエッジ (17、18) は、前記パネルの前記主平面 (MP) に対して内向きに傾けられていることを特徴とする請求項 1 乃至 10 のいずれかに記載の 1 組の家具の構成要素。

【請求項 12】

前記別個かつ柔軟な舌部 (3) は、前記舌部溝 (5) に対して予張力でロックされていることを特徴とする請求項 1 乃至 11 のいずれかに記載の 1 組の家具の構成要素。

【請求項 13】

前記別個かつ柔軟な舌部 (3) は、射出成型樹脂材料から形成されていることを特徴とする請求項 1 乃至 12 のいずれかに記載の 1 組の家具の構成要素。

【請求項 1 4】

前記第 1 パネル及び / または前記第 2 パネルは、エッジ部分または溝部分を形成する別個の材料 (2 4、2 5) を有する

ことを特徴とする請求項 1 乃至 1 3 のいずれかに記載の 1 組の家具の構成要素。

【請求項 1 5】

前記別個の材料は、箔で被覆されている

ことを特徴とする請求項 1 4 に記載の 1 組の家具の構成要素。